

平成29年度 京都市立乾隆小学校 学校経営方針

めざす学校像

- ・子どもが毎日楽しく通いたくなる学校
- ・地域に信頼され、地域と共にあゆむ学校

めざす教職員像

- ・一人一人の子どもを理解し、愛情をもって関わっていく職員
- ・研修や研究等、自己研鑽に励み切磋琢磨して高め合う職員
- ・明るく仲の良い助け合える職員集団

京都市の学校教育・目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども」



平成29年度 学校教育において重視する視点

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。



平成29年度 学校教育基本指針

確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた育成



学校教育目標 楽しく 学び合い 努力する 乾隆の子の育成

楽しく	学び合い	努力する
いきいきと めあてにむかって 進んで取り組む	互いに認め励まし合い 自他を大切にしながら 関わり、判断できる	子ども自ら 課題に気づき 努力し続ける



確かな学力（学力向上）

- 主体的な学びを保障する。
「つけたい力」「具体的なめあて」「ふりかえり」
- 普通授業の充実・授業力向上→子どもの学力向上
問題解決的な学習や探究活動の充実、言語活動の充実
「わかる喜びと学ぶ楽しさ」実感できる授業づくり
基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用
- 子どもの特性に応じた支援や教育を充実させる。
○学びの約束やルールを身につけ、意欲的に学ぶ集団を育てる。
- 家庭と連携した家庭学習の充実
- 図書館や手段としてICTを活用し、問題解決学習を展開する。
- 帯時間（朝読書・昼学習）の取組の充実
- 地域の人材や教材を生かした教育活動を展開する。
- 結果としての学力（調査等）を分析し、指導の改善を図る。

豊かな心（心の教育の充実）

- 支え合い高め合う集団づくりの推進する。縦割り活動の充実
- 規範意識の醸成・育成（ハートde乾隆など）を進める。
- 学校のきまりについて全教職員共通理解のもと指導を徹底する。
- 道徳教育の充実 道徳の時間を核として学校教育全体で取り組む。
- 豊かな感性・情操を育む教育の充実
- 常識的なことがしっかりできる子どもの育成（元気よくあいさつをする、時間を守る、後片付けをきちんとするなど）
- 感動したことを表現する場を設定し、実践する。
- 自尊感情と自己有用感を高める。
- 人権意識を高める取組を推進する。
- 交流学習等を行い、互いに尊重し成長し合う教育を推進

健やかな体（体力向上）

- 運動やスポーツの実践と体力の向上
- 部活動スポーツ教室を継続する
- 保健教育の充実
- 自分の体や命の大切さを知る学習や活動を効果的に推進する。
- 早寝早起き朝ごはん等基本的生活習慣を身につけさせる。
- 食に関する指導を推進
- 安全教育の充実
- 防災教育・防災管理の充実

学校運営の柱 ～全教職員で進める確かな学校教育～ ○子供の命を守りきる。○すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点で学校教育を推進する。
○教育者としての職責を自覚し、その専門性を高める。○小中一貫教育など校種間連携を推進する。○学校の組織力を高め、子ども一人一人の課題に対する支援を行う。
○保護者・地域と連携・協働した取組を推進する。○関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する。

めざす子ども像

- ・自ら学び、進んで行動する子ども
- ・明るく、心豊かな子ども
- ・たくましく、体を鍛える子ども
- ・命、人、ものを大切にする子ども